



# 明治150年 米の流通に関するアーカイブ

公益社団法人米穀安定供給確保支援機構

カテゴリー

生産

【種別】 図書(版本)  
【資料名】 畫本通寶志  
【巻次】 卷之一  
【副題】  
【記録年】 安永8年(初版)  
【刊行年】  
【編著者】 橋有税(橋守国)  
【出版社】 浪華書舗 稱觥堂版  
【寸法】 縦22.5cm 横15.5cm 頁/ 36丁

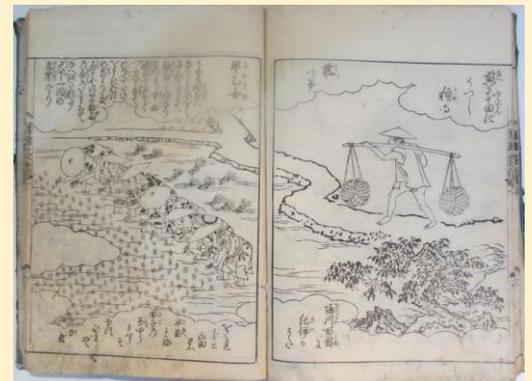
【表紙】



【略説明】

大坂の絵師・橋有税(橋守国)による絵手本集全10巻のうちの第1巻。冒頭の「四時農業」では、種籾の浸漬から入蔵までの一連の稲作風景が15場面に描かれている。なお各々の場面については、大坂近郊の農村をスケッチしたものといわれている。

【本編】



【注記】

橋有税(橋守国)(1679~1748)は狩野派に学んだ大坂の絵師。「畫本通寶志(絵本通宝志)」は絵手本として数多く利用されており、明治3年(1870年)パリで刊行された、フランス人が見た日本の生活風景挿画「LE JAPON ILLUSTRE」の元絵ともなっていることが指摘されている(「幕末外国人の日本スケッチと四季耕作図研究」(神奈川大学「歴史と民俗」))。

史料の所蔵元である静岡県農林技術研究所では農業資料館展示室を併設している。そこでは江戸時代から昭和にかけて実際に使用された農具、民具、生活用品のほか農業に関する史料などを多数収集・展示しており、無料で見学することができる。



【所蔵機関】 静岡県農林技術研究所農業資料館展示室  
【住所】 静岡県磐田市富丘678-1  
【連絡先電話番号】 0538-36-1553  
【所蔵URL】 <http://www.agri-exp.pref.shizuoka.jp/>  
【閲覧】 常設展示(入館無料)

開館時間: 平日9時~16時30分まで。

休館日 : 土曜日、日曜日、祝祭日、振替休日、及び年末年始(12月28日~1月4日)